

2018年12月17日

各 位

株式会社北洋銀行

**(株)格付投資情報センター(R&I)による「顧客本位の投信販売会社評価」
において「A⁺」の評価を取得しました**

北洋銀行は、(株)格付投資情報センター(R&I)による「顧客本位の投信販売会社評価^{※1}」(以下、本評価)において、「A⁺」の評価を取得いたしました。

本評価は、投資信託の販売において、銀行や証券会社などがいかに「顧客本位の業務運営」を行っているか、その取組方針や取組状況を(株)格付投資情報センター(R&I)が中立的な第三者の立場から評価するものです。


引続き、『「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー^{※2})の徹底～』に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践し、「お客さま第一主義」の業務運営を企業文化として定着させてまいります。

※1 「R & I 顧客本位の投信販売会社評価」(以下、「本評価」)は、投信販売業務を行う販売会社の「顧客本位の業務運営」の取組に関する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。R&I が本評価を行うに際して用いた情報は、R&I がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&I は、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。また、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではなく、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。本評価に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

※2 フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確に捉え、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真に適う金融商品やサービスを提供することをいいます。

以 上

評価公表日：2018年12月17日

評価対象	評価符号
<p style="text-align: center;">北洋銀行</p> <p>【会社概要】 北海道のトップの地位にある地銀。1998年に北海道拓殖銀行の道内営業を承継。</p>	

評価のポイント

- 顧客本位の業務運営に係る方針等の策定・公表等
経営陣関与の下顧客本位の投信販売（Fiduciary Duty：FD）推進が行われ、統括部署やその関連部署も含め役割分担は明確である。取り組み方針や成果指標（KPI）はわかりやすく具体的に公表されている。FDの定着度合いに関して、顧客アンケートなどで確認している。
- 顧客の最善の利益の追求
最善の利益を明確に定義している訳ではないが、顧客をセグメント化し、対応商品を販売員に示している。資産運用に関する資格・検定取得を奨励しているほか、研修制度も充実しており、社員の専門性向上を後押ししている。
- 投信販売方針策定及び販売、レビュー
長期投資・分散投資・積立投資を促進するための方針が示されている。実践に向けて預り資産を専門とする営業員が顧客の属性やニーズの把握に努め、営業員に一人一台配布されているタブレットを有効に活用することに取り組んでいる。
- 取扱投信の選定・モニタリング
新規取扱いファンドは、明確なプロセスにより採用が決定されている。取扱いファンドは運用実績を確認している。
- 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
営業店の業績評価基準に投信販売額だけでなく、FD推進項目を明示しているほか、投信積立なども含めている。営業員も販売額や投信積立などで評価される仕組みとなっており、FDの実践を意識した業績評価体系となっている。

「R&I 顧客本位の投信販売会社評価」について

銀行、証券会社などが、いかに投資信託の販売において「顧客本位の業務運営」を行っているか、その取組方針や取組状況を依頼に基づき、中立的な第三者の立場から評価します。投資信託の購入に際してアドバイスを必要としている個人投資家が販売会社を選ぶ際に、この評価を参考指標として利用することを想定しています。

評価符号とその定義は以下の通りです。

符号	定義
SS	顧客の最善の利益を図るための取組みが十分に行われており、非常に多くの優れた要素がある。
S	顧客の最善の利益を図るための取組みが行われており、多くの優れた要素がある。
A	顧客の最善の利益を図るための取組みが行われており、優れた要素がある。
B	顧客の最善の利益を図るための取組みが行われているが、改善すべき要素がある。
C	顧客の最善の利益を図るための取組みが不十分であり、改善すべき要素が多い。

(注) SとAについては、上位評価に近いものにプラスの表示をし、それぞれS+、A+と表示することがあります。プラスも符号の一部です。

R&I 顧客本位の投信販売会社評価は、投信販売業務を行う金融事業者の「顧客本位の業務運営」に関するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。十分信頼できると判断される情報源からの情報に基づき評価を実施していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。この評価情報の利用によって何らかの損害が発生した場合、その原因がいかなるものであれ、R&Iは一切の責任を負わないものとします。R&I 顧客本位の投信販売会社評価はR&I 投信定性評価・定量評価レーティングとはそれぞれ独立のものであり、互いの評価に影響を与えるものではありません。R&I 顧客本位の投信販売会社評価の業務は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。